

令和7年度（2025年度）

近畿大学大学院
総合理工学研究科

学 生 募 集 要 項



目次

0	アドミッションポリシー	1
①	近畿大学教育方針	1
②	総合理工学研究科のアドミッションポリシー（入学者受入れ方針）	1
1	入学試験	5
①	入学試験日程表	5
②	入試予備日	5
2	出願資格	6
①	修士課程・博士前期課程 学内入学選考（9月募集）	6
②	修士課程・博士前期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	6
③	修士課程・博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	7
④	博士後期課程 一般人選考（9月募集・2月募集）	7
⑤	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	8
3	出願書類	9
4	選考方法	12
①	修士課程・博士前期課程 学内入学選考（9月募集）	12
②	修士課程・博士前期課程 一般入学選考（9月募集）	12
③	修士課程・博士前期課程 一般入学選考（2月募集）	13
④	修士課程・博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	14
⑤	博士後期課程 一般人選考（9月募集・2月募集）	15
⑥	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	15
5	出願	16
①	出願方法	16
②	書類送付・問い合わせ先一覧	18
③	その他	18
6	合格発表および入学手続	19
①	発表方法	19
②	入学手続	19
③	入学金（入学申込金）学費等の納入	19
④	学費等一覧表	20
7	奨学金・入学辞退に伴う学費等返還	21
①	奨学金	21
②	経済的負担軽減に関する支援制度	21
③	入学辞退に伴う学費等返還	21
8	その他	22

近畿大学教育方針

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会へ転換しようとする 21 世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。

本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を發揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これからの時代に、本学が目指す社会的使命であります。

総合理工学研究科のアドミッションポリシー(入学者受入れ方針)

理学専攻

理学専攻は自然を解明することを目標とし、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーで示した教育方針に基づいて、数理解析、物理学、機能性分子化学、生物・環境化学の各分野に分かれて先端的な研究活動を行うとともに、各分野にまたがる複合的な研究もおこなわれています。これらの研究に携わる研究者による積極的かつ周到的な教育・指導により、先端的な科学研究者、高等教育者、技術者を育成することを目指しています。このために、本専攻は以下のような学生を受け入れることを望みます。

【博士前期課程】

1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。
2. 自然科学全般および専門領域における研究のための基礎学力を有する人。
3. 新たに得た知見を広め、役立てる意欲を持ち、努力する人。

【博士後期課程】

1. 自然科学における基礎的な概念・原理・法則を理解し、新たな発見に意欲を持つ人。
2. 自然科学に関する研究の専門的課題を自主的に解決し、論文の形（修士論文相当）で表現する能力を修得している人。
3. 博士後期課程で学んだ知識や経験をもとに、将来的に教育・研究分野において社会の発展に貢献する意思を持つ人。

さらに理学専攻に入学するまでに、各分野で行われている先端的な研究を学修するために必要な語学力（日本語および英語による読解力、表現力、コミュニケーション能力）と数学・物理学・化学・生物学に対する基礎的理解力が修得できていることが望まれます。上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程志願者あるいは博士後期課程志願者における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者としての意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

物質系工学専攻

地球温暖化など、現代社会が抱える問題の解決は、明るい次世代社会を築くために必要不可欠です。本専攻では、これらの問題にかかわる化学現象の解明や新物質の創出に関する基礎研究、高等教育、産業応用を担う人材を育成することを目指しています。そのため、選考には、物理化学・無機化学・有機化学等、多分野の教員による口頭試問を取り入れています。本専攻が受け入れを望むのは、以下のような人です。なお、具体的な入学者選抜については総合理工学研究科の項目を参照してください。

【博士前期課程】

1. 自然科学全般において学士としてふさわしい基礎学力を有し、その基礎学力をさらに培う意欲をもつ人
2. 修養した基礎学力をもとに各自の専門領域を深耕する意欲をもつ人
3. 積極性、主体性、倫理観に対する意識を高め、語学力やコミュニケーション能力を磨き、将来は国際的に活躍する技術者・研究者として人類社会の発展に貢献する意志をもつ人

【博士後期課程】

1. 自然科学全般において修士としてふさわしい学識をもち、かつ各自の専門分野における課題を解決するための専門知識と実行力をもつ人
2. 各自の専門分野を深耕することに加え、専門以外の分野からも積極的に知見を取り入れることで自らの専門領域の新たな展開をはかり、ひいては新領域を切り拓く意欲をもつ人
3. 博士前期課程で培った積極性、主体性、倫理観、語学力、コミュニケーション能力にさらに磨きをかけ、将来は国際的な技術者・研究者の中であってリーダーシップを発揮し、人類社会の発展のため貢献する意志をもつ人

メカニクス系工学専攻

メカニクス系工学専攻は、近畿大学の建学の理念である「実学教育」に則り、機械工学の専門知識を実社会に応用し幅広く国際社会で活躍でき、さらに次世代社会の高度発展を支える機械工学に関する基盤技術を設計・開発できる研究者、高度専門技術者の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。

【博士前期課程】

1. 機械工学の学士の専門知識を修得した人。
2. 与えられた研究テーマに取り組む意欲があり、前期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。
3. 学士の英語力をもち、産学官の中核的人物としてのグローバルな視点をもちたい人。

以上の人材を見出すために、機械工学関連の基礎ならびに専門知識に関する学力評価、TOEIC や TOEFL などを含む英語の学力評価、さらに志望する専修科目に関する口頭試問などを総合的に評価して選抜します。

【博士後期課程】

1. 機械工学の修士の専門知識と研究能力を修得した人。
2. 自ら問題を発見・解決して発表する意欲があり、学会で口頭発表でき、後期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。
3. 英語論文を読解でき、産学官の中核的研究者としてのグローバルな視点をもちたい人。

以上の人材を見出すために、専門分野の学識と研究能力に関する口頭試問を含む口頭試問で総合的に評価して選抜します。

エレクトロニクス系工学専攻

エレクトロニクス系工学専攻は、近畿大学建学の精神に則り、エレクトロニクス系工学専攻の教育目的を実現するため、前期課程においては学士、後期課程においては修士のレベルに相当する理工系の素養と英語力を身につけており、豊かな創造力と論理的思考力を備え、高度な専門知識を学ぶ意欲と、研究開発に取り組むことへの強い興味と情熱をもち、計測・情報システム、材料・デバイス、情報処理、原子エネルギーの4分野において、専門技術者、研究者、教育者を目指す学生を求めています。

【博士前期課程】

1. 当専攻の何れかの分野に強い関心があり、その専門知識を深く学ぶ意欲のある人。
2. 前期課程では学士のレベルに理工系の基礎学力と英語力を身につけている人。
英語力については入学試験に TOEIC を導入することにより能力評価の客観性を保っています。
3. 自らの問題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。
4. 学修を通して得られた知識、知見を高い倫理性をもって社会に還元しようとする人。

【博士後期課程】

1. 博士前期課程（修士課程）修了レベルの基礎知識と英語力をもち、前期課程より継続して研究を進める好奇心と意欲を有する人。
2. 研究課題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。
3. 専門領域において深い学識を得て、その知見を社会に知らしめる努力をする人。
4. 研究の社会的意義について正しい認識を持ち、研究者・技術者倫理を遵守できる人。

環境系工学専攻

環境系工学専攻では、各課程において以下のような学生を受け入れます。

【博士前期課程】

地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の基礎知識と学問・研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。

1. 環境系工学に関する専門知識を有する人。
2. 環境系工学に関する研究テーマに取り組み意欲があり、専門的課題に対して研究計画を立てられる人。
3. 産学官における技術者・研究者として、活躍したい人。

【博士後期課程】

地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の専門知識と先端研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。

1. 環境系工学に関する専門知識と研究能力を有する人。
2. 環境系工学に関する研究テーマに自ら取り組み、問題の発見・解決に意欲があり、研究計画を立てられる人。
3. グローバルな視点をもち、国内外で環境系工学に関する卓越した研究者を目指す人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。

各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

東大阪モノづくり専攻

最先端の理論と実務との架け橋の役割を果たそうとする意欲を持ち、理工系全般の素養を身につけ、創意工夫の精神をもち、モノづくり産業の発展に深い関心をもつ意思の高い人材の育成を目指しています。学則の理念に基づき、企業での研究開発と大学院での高度な教育を行うことにより、多様な価値観を身につけ、幅広い知識と総合力を備えた「新しい価値を創造できる研究者・技術者の養成」を目的としています。

本専攻が受け入れを望むのは以下のような学生です。

【博士前期課程】

1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。
2. 自然科学全般および専門領域における技術者としての基礎学力を有する人。
3. 新たに得た知見を広め役立て、意欲をもち努力する人。

【博士後期課程】

1. 未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明し、それを工学的応用に発展させる意欲を持つ人。
2. 自然科学全般および専門領域における研究者としての応用学力を有する人。
3. 新たに得た知見を広め役立て、グローバルに展開する意欲をもち努力する人。

本専攻の入学試験では博士前期課程および後期課程ともに、上記の人材を多面的な評価尺度で選抜するために、(1) に対しては、一次試験として、定められたテーマに対する小論文を課す、(2) に対しては、二次試験として、限られた道具と材料を用いて、テーマに沿ったモノを作製し、プレゼンテーションを課す、(3) については、二次試験として、口頭試問を課す、という二段階選抜によって受け入れ、一次試験および二次試験の結果を統合した入学者選抜を実施します。

建築デザイン専攻

建築デザイン専攻では、歴史と伝統を踏まえ、デザインを通じて新たな環境構築を創造できる能力および21世紀となり世界を見据え国際社会において活躍できる能力を身に付けた高度な専門的職業人の養成を目指しています。地球環境保全や社会基盤形成に関する諸分野の専門知識をいかし、探求していくための十分な基礎学力を備えており、自ら課題を設定し、積極的に研究をおこなう意欲をもった人の入学を期待します。

【修士課程】

建築デザイン分野に関する高度な専門性を身に付け、その分野の職業人として力を発揮できる能力を有する入学者を求めます。

1. 建築に関する基礎的な学力を有しており、計画的に研究を遂行できる人。
2. 領域横断的な知性と教養を身に付け、総合的な思考力と判断力をもって国際社会また地域社会に貢献する意欲を持った人。
3. 建築デザイン分野における能力を活かして、新たな都市、建築を構想する力を発揮できる人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。

各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

1. 入学試験

1-① 入学試験日程表

入学定員	【理学専攻】 博士前期課程：30名 博士後期課程：2名			
	【物質系工学専攻】 博士前期課程：40名 博士後期課程：2名			
	【メカニクス系工学専攻】 博士前期課程：25名 博士後期課程：2名			
	【エレクトロニクス系工学専攻】 博士前期課程：30名 博士後期課程：2名			
	【環境系工学専攻】 博士前期課程：15名 博士後期課程：2名			
	【東大阪モノづくり専攻】 博士前期課程：10名 博士後期課程：2名			
	【建築デザイン専攻】 修士課程：10名			
	日程	9月募集		2月募集
課程	博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程
入試種別	<input checked="" type="checkbox"/> 学内入学選考 <input checked="" type="checkbox"/> 一般入学選考 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人入学選考	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入学選考 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人入学選考	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入学選考 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人入学選考	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入学選考 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人入学選考
出願期間	令和6年7月22日(月)～令和6年8月2日(金)		令和7年1月17日(金)～令和7年1月30日(木)	
試験日	令和6年9月14日(土)		令和7年2月15日(土)	
合格発表日	令和6年9月27日(金)		令和7年3月4日(火)	

※1 募集人員は、学内入学選考・一般入学選考・社会人入学選考・外国人留学生入学選考の入学者を含みます。

※2 9月募集の学内入学選考（博士前期課程）は東大阪モノづくり専攻を除く。

※3 9月募集の社会人入学選考（修士課程・博士前期課程）は理学専攻 遺伝カウンセラー養成課程、東大阪モノづくり専攻、建築デザイン専攻を除く。

※4 2月募集の社会人入学選考（修士課程・博士前期課程）は理学専攻 遺伝カウンセラー養成課程、東大阪モノづくり専攻、建築デザイン専攻を除く。

※5 9月募集の社会人入学選考（博士後期課程）は東大阪モノづくり専攻を除く。

※6 2月募集の社会人入学選考（博士後期課程）は東大阪モノづくり専攻を除く。

1-② 入試予備日

台風・雪・地震等による災害その他特別な事情により、上記に定めた期日に実施できず、または完了しなかった試験分については下記の試験予備日に実施します。この場合の合格発表日・手続期間は改めて試験実施日および合格発表時に通知します。さらに予備日での実施が困難な場合は、状況が回復次第、できるだけ速やかに実施します。

入学試験日	試験予備日
令和6年9月14日(土)	令和6年9月21日(土)
令和7年2月15日(土)	令和7年2月22日(土)

2. 出願資格

【修士課程・博士前期課程】

2-① 学内入学選考（9月募集）

令和7年3月近畿大学を卒業見込みで学科長または演習・卒業研究指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

※各専攻とも、別に定める成績基準を満たす者。

※文系の課程を修めた者で理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程を志望する者は、生物学あるいは医療関係の科目を2単位以上履修していることを条件に、出願を認める。該当者は出願期日の2ヵ月前までに理工学部学生センターに成績証明書を提出し、専修科目等について相談してください。

2-② 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- (1) 大学の学部を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および令和7年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和7年3月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- (8) 本大学院において個別の入学資格審査により、上記と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- (9) 本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。

※なお、上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2ヵ月前までに理工学部学生センターまたは建築学部学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

※文系の課程を修めた者で理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程を志望する者は、出願期日の2ヵ月前までに理工学部学生センターに成績証明書を提出し、受験科目（専門科目）、専修科目等について相談してください。

2-③ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（9）のいずれかに該当すると共に、（10）～（11）までの条件を満たす者。

- （1）大学の学部を卒業した者。
- （2）大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者。
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- （6）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- （7）文部科学大臣が指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- （8）本大学院において個別の入学資格審査により、上記（1）と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （9）本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。
- （10）総合理工学科の大学卒業者は大学卒業後2年以上、（2）から（6）または（7）から（9）の出願資格取得後2年以上の在職経験がある者。
- （11）総合理工学研究科は、在職している職場の長から「推薦」がある者。

※なお、上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに理工学部学生センターまたは建築学部学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

【博士後期課程】

2-④ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- （1）修士の学位を有する者および令和7年3月修士課程または博士前期課程を修了見込みの者。
- （2）専門職学位を有する者および令和7年3月までに専門職学位を取得見込みの者。
- （3）外国において修士の学位に相当する学位を有する者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （5）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月までに取得見込みの者。
- （6）文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- （7）本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （8）大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

※なお、上記（6）（7）または（8）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに理工学部学生センターまたは建築学部学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

2-⑤ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（8）のいずれかに該当すると共に、（9）の条件を満たす者。

- （1） 修士の学位を有する者。
- （2） 専門職学位を有する者。
- （3） 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者。
- （4） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （5） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- （6） 文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- （7） 本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達した者および令和7年3月31日までに達する者。
- （8） 大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。
- （9） 入学時において、上記（1）から（5）に該当する場合大学院修了後2年以上の在職経験が、上記（6）、（7）または、（8）に該当する場合は大学卒業後または出願資格取得後4年以上の在職経験があり、かつ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。

※上記（6）、（7）または、（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2ヵ月前までに理工学部学生センターまたは建築学部学生センターに相談し、「研究歴」「研究成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

3. 出願書類

下記の書類をそろえてご提出ください。

出願前に必ず志望する専修科目教員へ事前相談をしてください。

【修士課程・博士前期課程】

出願書類	内容	試験制度				
		9月期			2月期	
		学内	一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、17ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイト「必要書類」よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 (https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/)	○	○	○	○	○
卒業または卒業見込証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○	○
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。大学院修了(見込)者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○	○
推薦書	学長宛。(ダウンロード用紙使用可) ※「推薦書」について、東大阪モノづくり専攻のみ9月・2月の<一般入学選考>にも必要です。	○	- ※	-	- ※	-
封筒(角形2号)	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○	○
在職証明書(書式自由)	2年以上の在職経験があることを証明する書類。	-	-	○	-	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含みます。	-	-	○	-	○
研究報告書または 研究計画書	(書式自由) これまで従事してきた研究に関する「研究報告書」または出願する専攻で志望する研究についての「研究計画書」(500～1200字)	-	-	○	-	○
TOEIC等のスコア (写)	TOEIC等の範囲: TOEIC L&R・TOEIC L&R IP・TOEFL iBT・TOEFL ITP・IELTS(外国語の試験に代わります。) スコアの有効期限は、出願締切日から起算し、過去2年以内のもの ※東大阪モノづくり専攻は提出不要 ※オンライン受験のものは対象外	○	○	-	○	-

出願書類	内容	試験制度				
		9月期			2月期	
		学内	一般	社会人	一般	社会人
小論文	<p>〈総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻のみ〉</p> <p>① 題名：「モノづくりを通して、いかに自分を高めるか」</p> <p>② 書式：インターネット出願サイトからダウンロード</p> <p>1) 原則としてパソコン（またはワープロ）を使用してください。</p> <p>2) 判の大きさ：A 4 版（縦長）・文字方向：横書き</p> <p>3) 文字の大きさ：11 ポイント・1行あたりの文字数 40 字</p> <p>4) 1 ページあたりの行数：40 行</p> <p>※箇条書きを活用し簡潔に 1 枚にまとめること</p> <p>5) 氏名、志望専修科目および担当教員（第 1 志望のみ）を記入した表紙をつけてください。（研究概要を参照）</p> <p>③ 小論文に関する添付資料</p> <p>1) 業績を示す論文・報告書等（コピー可）</p> <p>※提出された資料は返却いたしませんのでご了承ください。</p>	-	○	-	○	-

【博士後期課程】

出願書類	内容	試験制度			
		9月期		2月期	
		一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、17ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイト「必要書類」よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 (https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/)	○	○	○	○
修了または修了見込 証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○ ※1	○	○ ※1
成績証明書	出願3ヵ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認めます。	○	○	○	○
推薦書	学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	-	-	-	-
研究経過報告書	A4用紙に1500字程度(修士論文提出者を除く)	○	-	○	-
修士論文(写)および 学会発表等の論文別冊	<修了見込の者については下記の書類> 研究経過報告書(1500字程度・書式自由)	○	-	○	-
封筒(角形2号)	インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し貼付してください。	○	○	○	○
在職証明書(書式自由)	2年以上の在職経験のあることを証明する書類。	-	○	-	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含みます。	-	○	-	○
研究報告書または 研究計画書(書式自由)	1200字～3000字	-	○	-	○

※1 「修了または修了見込証明書」は、社会人入学選考を受験する場合は「卒業または修了証明書」を提出してください。

※2 総合理工学研究科東大阪モノづくり専攻は履歴書・修了または修了見込証明書・成績証明書に加えて学部の卒業証明書を提出してください。

4. 選考方法

■試験は東大阪キャンパスで実施いたします。受験票に教室名を記載しておりますのでご確認ください。

【修士課程・博士前期課程】

4-① 学内入学選考（9月募集）

学力試験（(1) 参照）、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問
	11:00～
理学	主として志望する専修科目について (専攻ごと)
物質系工学	
メカニクス系工学	
エレクトロニクス系工学	
環境系工学	
建築デザイン	

(1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。

なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日より2年以内に受験したものに限りです。

出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等(写)を提出してください。(みなし得点換算方法は開示しておりません。)

口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。

(2) 理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。

■インターネット出願入力時の注意事項

理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の志望者は志望情報入力画面の「遺伝カウンセラー養成課程志望」で「志望する」を選択してください。

(注意) インターネット出願時に遺伝カウンセラー養成課程志望を選択せず受験した者は、たとえ理学専攻に入学しても同課程を修めることはできません。

4-② 一般入学選考（9月募集）

学力試験（(1) 参照）、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専攻	専攻の基礎科目	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～
理学	数学、物理学、化学、生物学の4科目のうちから1科目選択	主として志望する専修科目について (専攻ごと)
物質系工学	物理化学、無機化学、有機化学の3科目のうちから1科目選択	
メカニクス系工学	数学、物理学の2科目のうちから1科目選択	
エレクトロニクス系工学	数学、物理学、電磁気学、電気回路論、コンピューターシステム、ソフトウェア (Javaプログラミングを含む) の6科目から1科目選択	
環境系工学	構造工学、計画学、環境工学、材料工学の4科目のうちから1科目選択	

(1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。

なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日より2年以内に受験したものに限りです。

出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等(写)を提出してください。(みなし得点換算方法は開示しておりません。)

口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。

(2) 専攻の基礎科目については選択する1科目を指定し、出願時に受験科目名を入力のうえ、受験してください。

- (3) 専攻の基礎科目（物質系工学専攻・環境系工学専攻）については関数電卓の持ち込みを認めます。
- (4) 理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。
また、「専攻の基礎科目」として生物学を指定します。

専攻	第1次選考	第2次選考
東大阪モノづくり	書類選考	実技試験および口頭試問・口述試験

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせのうえ、2 ヶ月前から出願開始日までに専攻教員のガイダンスを受けてから出願してください。
- (2) 出願書類は、P9～10 をご覧ください。（第1次選考として、小論文があります）
- (3) 検定料は、第1次選考は12,000円、第2次選考は20,000円となります。

専攻	専門科目Ⅰ	専門科目Ⅱ	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～17:00	17:30～
建築デザイン	計画学	建築設計	主として志望する専修科目について

- (1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。
なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等(写)を提出してください。(みなし得点換算方法は開示しておりません。)
口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。
- (2) 専門科目Ⅱは即日設計を行います（試験当日は製図道具一式を持参すること）。

4-③ 一般入学選考（2月募集）

専攻	専攻の基礎科目	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～
理学	数学、物理学、化学、生物学の4科目のうちから1科目選択	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
物質系工学	物理化学、無機化学、有機化学の3科目のうちから1科目選択	
メカニクス系工学	数学、物理学の2科目のうちから1科目選択	
エレクトロニクス系工学	数学、物理学、電磁気学、電気回路論、コンピュータシステム、ソフトウェア（Javaプログラミング含む）の6科目から1科目選択	
環境系工学	構造工学、計画学、環境工学、材料工学の4科目のうちから1科目選択	

- (1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。
なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等(写)を提出してください。(みなし得点換算方法は開示しておりません。)
口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。
- (2) 専攻の基礎科目については選択する1科目を指定し、出願時に志願票に記入のうえ、受験してください。
- (3) 専攻の基礎科目（物質系工学専攻・環境系工学専攻）については関数電卓の持ち込みを認めます。
- (4) 理学専攻の遺伝カウンセラー養成課程の志望者は受験前に説明会への参加が必要となります。
また、「専攻の基礎科目」として生物学を指定します。

専攻	第1次選考	第2次選考
東大阪モノづくり	書類選考	実技試験および口頭試問・口述試験

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせのうえ、出願期間の1ヵ月前までに専攻教員のガイド
ンスを受けてから出願してください。
- (2) 出願書類は、P9～10をご覧ください。(第1次選考として、小論文があります)
- (3) 検定料は、第1次選考は12,000円、第2次選考は20,000円となります。

専攻	専門科目Ⅰ	専門科目Ⅱ	口頭試問
	11:00～12:00	13:00～17:00	17:30～
建築デザイン	計画学	建築設計	主として志望する 専修科目について

- (1) 外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。
 なお、利用する各種検定等は、原則として出願締切日より2年以内に受験したものに限り、
 出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等(写)を提出してください。(みなし得点換算方法は開示していません。)
 口頭試問時に必ずスコア原本を持参してください。
- (2) 専門科目Ⅱは即日設計を行います (試験当日は製図道具一式を持参すること)。

■インターネット出願入力時の注意事項

- 「受験科目」(専門科目)欄には専攻の基礎科目から選択する1科目を入力してください。
- 理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の志望者は志望情報入力画面の「遺伝カウンセラー養成課程志望」で「志望する」を選択してください。
 また、受験科目(専門科目)欄に生物学と入力してください。
(注意) 出願時に遺伝カウンセラー養成課程志望を選択せず受験した場合は、たとえ理学専攻に入学しても同課程を修めることはできません。

4-④ 社会人入学選考(9月募集・2月募集)

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「修士論文および学会発表等の論文別冊」または「研究経過報告書」および「推薦書」等を総合的に判断して、可否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
理学	主として志望する専修科目について(専攻ごと)
物質系工学	
メカニクス系工学	
エレクトロニクス系工学	
環境系工学	

- (1) 出願前に理工学部学生センターまたは建築学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。
- (2) 理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の募集はいたしません。

【博士後期課程】

4-⑤ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

専修科目に関する口頭試問、出題時に提出した「修士論文および学会発表等の論文別冊」または「研究経過報告書」等を総合的に判断して、合否を判定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
理学	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
物質系工学	
メカニクス系工学	
エレクトロニクス系工学	
環境系工学	

(1) 出願前に理工学部学生センターまたは建築学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。

東大阪モノづくり専攻

- (1) 志願者は、必ず理工学部学生センター大学院入試係に問い合わせのうえ、1ヵ月前から出願期間日までに専攻教員のガイダンスを受けてから出願してください。
- (2) 試験の開始時刻・集合場所については、出願書類を受理後に郵送いたします。
- (3) 出願書類は、P11 をご覧ください。
- (4) 検定料は、32,000 円となります。

4-⑥ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
理学	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
物質系工学	
メカニクス系工学	
エレクトロニクス系工学	
環境系工学	

- (1) 出願前に理工学部学生センターまたは建築学部学生センター大学院入試係へ連絡してください。
- (2) 理学専攻内に設置されている遺伝カウンセラー養成課程の募集はいたしません。

5. 出願

5-① 出願方法

出願方法(出願はインターネットのみとなります) ※一部変更になる可能性もあります。

1 事前準備

必要書類は、発行に時間がかかる場合がありますので、できるだけ出願前に準備をしてください。

2 インターネット出願ページにアクセス

近畿大学大学院ホームページより「インターネット出願について」をクリックし、
インターネット出願サイト (<https://prod.shutsugan.ucaro.jp/kindai-graduate/top>) にアクセスしてください。
最初に『インターネット出願トップ画面』の“出願の流れ”を必ずよく読んでください。

3 出願

「インターネット出願トップ画面」の「試験日程一覧(出願情報の登録)」から出願する試験制度の下にある「出願する」ボタンをクリックし、「UCARO」ログイン(会員登録が未登録の方は、【UCARO 会員登録】の手順で登録してください。)してください。

ログイン後、①志望情報入力→②個人情報入力の順番に入力してください。

※ 登録完了後と入金完了後に完了メールを送信します。

携帯メールの場合は、ドメイン(@ucaro.jp)の受信許可をしてください。

※ 確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

※ UCARO 会員登録では、本登録用のメールを送信します。

携帯メールの場合は、ドメイン(@ucaro.net)の受信許可をしてください。

4 入学検定料の支払い

クレジットカード、コンビニ、金融機関ATM(Pay-easy)、ネットバンキングのいずれかの方法でお支払いいただけます。

『出願登録完了画面』から「決済方法を選択する」ボタンを押して『決済方法選択画面』へ進みます。

決済方法を選択して「決済サイトに進む」ボタンを押し、画面の案内に従ってお支払いください。

※一度納入された入学検定料は原則として返還いたしません。

※入学検定料の他に手数料が必要です。

5 出願書類の郵送

募集要項に記載されている必要書類を確認して封筒に入れ、インターネット出願サイトより宛名ラベル(A4)を印刷し、同封の封筒に貼付してください。出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。(出願締切日必着)

※登録完了画面から宛名ラベルを出力してください。

注意：登録完了後、検定料を支払い、出願書類を郵送することで出願が完了します。

・検定料は32,000円となります。(東大阪モノづくり専攻はP13~15をご覧ください)

・インターネット出願は24時間可能ですが、検定料の支払いは出願締切日まで

(営業時間はATMやコンビニなどの施設によって異なります)、出願書類は出願締切日必着です。

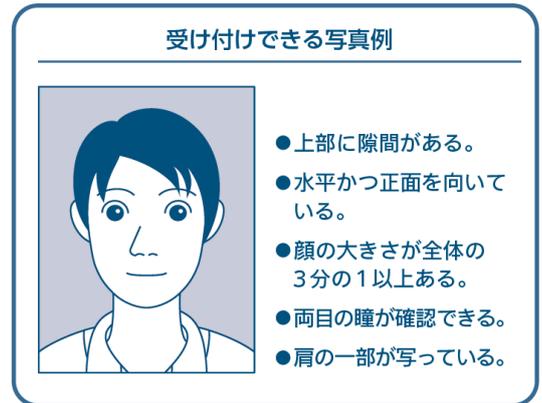
できるだけ余裕をもって出願してください。

・受験票が試験実施2日前までに未着の場合は、理工学部学生センター・建築学部学生センターへお問い合わせください。(P18参照)

〈出願写真データについて〉

出願写真は、インターネット出願時に出願写真データをアップロードしていただきます。
郵送の必要はありません。出願写真データのアップロード方法は、下記を参照ください。

- 出願3か月以内に撮影した受験者本人のみが写ったカラー写真
(モノクロ・スナップ写真は不可)
- 上半身、正面(焦点が合ったもの)、無帽(ヘアバンドも不可)、背景無地、
枠無しものを使用してください。
- 制服、私服は問いません。ただし、入学が許可された場合には、
学生証用写真等に使用します。卒業時まで写真交換はできません。
- 眼鏡着用の場合、レンズは無色透明(ブルーライトカットレンズ等の
反射するものは不可)で、レンズに光が反射していないものに限りです。
- 画像に加工を施していないこと。また、不鮮明なもの
(背景と人物の境目がわかりにくいもの等)、サングラス・マスクや
髪や影で目元輪郭を隠している、目を閉じている等、個人の判別、
本人確認が困難な写真は使用できません。
- 平常の顔貌と著しく異なるもの(たとえば、口を開き歯が必要以上に
見えているものは不可)
- 変色や傷、汚れのないもの
- 証明写真等、プリントアウトした写真を撮影したものは不可。
- ファイル形式: JPEG
- 推奨サイズ: VGA (640×480 サイズ)



[不適当な写真例] ※次のような写真の場合は、再請求することがあります。



※出願写真データは画面上でサイズを調整して登録することができますので、顔がはっきり映るように適宜調整してください。

(顔が大きすぎる、小さすぎるものは不可)

※出願写真として適切ではないと判断された場合は、再提出になることがあります。

出願期間内に再提出を行わない場合、出願は受理できません。

※一度受理された出願写真データは、変更することができません。

〈写真アップロード方法〉



1 必要書類確認・写真アップロードの画面に表示される[出願写真をアップロード]ボタンを押してください。



2 出願写真アップロード画面にある「出願写真に関する注意事項」を読み、[ファイル選択]ボタンを押してパソコン・スマートフォンの端末に保存されている写真を選択してください。選択後[写真の加工に進む]ボタンを押してください。

3 ドラッグによる画像位置の移動や、回転・拡大・縮小、明るさの調整ができます。画面の指示にしたがって操作し、[切り抜く]ボタンを押してください。

4 最後に確認事項をよく読み、すべてにチェックを入れたら[出願写真として提出する]ボタンを押してください。これで出願写真のアップロードは完了です。

※前ページに戻る場合は、ブラウザの[戻る]ボタンを使用せずに、画面内の[戻る]ボタンを使用してください。

5-② 書類送付・問い合わせ先一覧

【東大阪キャンパス】 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

書類送付先・問い合わせ先		電話番号
理工学部学生センター	38 号館 1 階	(06) 4307-3047
建築学部学生センター	33 号館 1 階	(06) 4037-3057

5-③ その他

身体機能に障がいがある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の申し出について

- (1) 身体機能に障がいのある人で、受験時および入学後の就学に必要な配慮を必要とする場合は必ず出願前に理工学部学生センター・建築学部学生センターに相談してください。
事前に書類等を提出いただくことがあります。ただし、入学試験の可否に影響をおよぼすことはありません。
- (2) 出願後の不慮の事故等による負傷者・疾病者が、受験時に特別な配慮・措置を希望する場合は至急、理工学部学生センター・建築学部学生センターに申し出てください。
- (3) 特別な配慮・措置を希望する場合でもご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

6. 合格発表および入学手続

6-① 発表方法

合格者には、合格通知書および入学に必要な提出書類ならびに手続方法を送付、通知します。
指示に従って手続をしてください。手続期間を過ぎますと入学を許可できませんので注意してください。
(締切日消印有効)

試験日	合格発表日	入学手続期間
令和6年9月14日(土)	令和6年9月27日(金)	令和6年9月27日(金)～令和6年10月11日(金) 〔二次手続納入締切期日〕令和6年12月13日(金)
令和7年2月15日(土)	令和7年3月4日(火)	令和7年3月4日(火)～令和7年3月19日(水)

6-② 入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続を完了してください。
なお、期日までに所定の手続を完了しない場合は、入学の意志がないものとして入学許可を取り消します。また、一度受理した入学手続書類および入学金(入学申込金)は原則として返還いたしません。

6-③ 入学金(入学申込金)学費等の納入

入学金(入学申込金)・学費等納入金の納入は銀行振込(本学指定の振込依頼書)により入学手続期間内に次の[1]
または[2]のいずれかの方法により納入してください。(締切日消印有効)

※振込依頼書は(イ)一括手続用(ロ)一次手続用(ハ)二次手続用の3枚が同封されていますので、切り離して(イ)一括手続用1枚のみを使用、または(ロ)一次手続用(ハ)二次手続用の2枚のみを使用(9月期のみ選択可)のいずれかで納入してください。

[1] 一括して納入する方法

入学金・学費等納入金を一括して所定の期間内に納入((イ)一括手続用の振込依頼書で納入してください。)するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

[2] 2回に分けて納入する方法 ※9月期のみ

- (1) 第一次手続 入学申込金のみ納入(令和6年10月11日(金)まで)((ロ)一次手続用の振込依頼書で納入してください。)
- (2) 第二次手続 学費等を納入(令和6年12月13日(金)まで)((ハ)二次手続用の振込依頼書で納入してください。)するとともに、入学に必要な書類を大学に別途郵送することによって入学手続は完了します。

※10月11日(金)までに入学申込金を納入しないと二次手続をすることができません。

※入学手続に必要なすべての学費を納入された時点で、「入学申込金」は「入学金」として取り扱います。

(注1) 学費については、6-④を参照してください。

(注2) 10万円を超える現金振込の際には、指定の振込依頼書とともに、振込手続を行う方の本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード、パスポートなど)をご用意のうえ、国内の金融機関窓口をご利用ください。

(注3) 本学の領収書は発行しませんので、振込金(兼手数料)受取書や振込控等は大切に保管してください。

6-④ 学費等一覧表

【修士課程・博士前期課程】

単位：円

学年	費 目			
	入学金	授業料 []内 前期納付金	学生健保 共済会費	合計
1年次	200,000 (※100,000)	950,000 [475,000]	6,500	1,156,500 (※1,056,500)
2年次		1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の学部および大学院を令和7年3月卒業・修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。
入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 上記は令和6年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

【博士後期課程】

単位：円

学年	費 目			
	入学金	授業料 []内 前期納付金	学生健保 共済会費	合計
1年次	200,000 (※不要)	950,000 [475,000]	6,500	1,156,500 (※956,500)
2年次		1,000,000 [500,000]	6,500	1,006,500
3年次		1,030,000 [515,000]	6,500	1,036,500

備 考

- (1) 入学時納入金は、入学金、授業料[前期分]、学生健保共済会費の合計額です。
- (2) ※印は、本学の大学院修士課程または博士前期課程を令和7年3月修了見込の方に適用されます。
- (3) 授業料[後期分]の納入期は10月です。
- (4) 表示額以外に校友会終身会費30,000円が必要です(入学年次に20,000円、最終学年次に10,000円)。
入学後、校友会の準会員となり、卒業後、正会員になります。
ただし、本学学園出身者で既に校友会終身会費を納めた方は不要です。
- (5) 上記は令和6年度入学時の金額ですので、変更される場合があります。予めご了承ください。

7. 奨学金・入学辞退に伴う学費等返還

7-① 奨学金

勉学意欲が旺盛であり、経済的理由によって修学困難な学生に対して、学資の一部を給付あるいは貸与する奨学金制度があります。

なお、詳細については学生部（奨学金担当窓口）にお問い合わせください。

1. 近畿大学奨学金

- (1) 世耕弘一奨学金（給付）
- (2) 近畿大学奨学金（無利子貸与・定期採用）
- (3) 近畿大学災害特別奨学金（無利子貸与・随時）
- (4) 近畿大学応急奨学金（無利子貸与・随時）

2. 日本学生支援機構奨学金

- (1) 第一種奨学金（無利子・選択型）〈特に優れた業績による返還免除制度があります〉
- (2) 第二種奨学金（有利子・選択型）
- (3) 入学時特別増額貸与奨学金（有利子・一括貸与）

7-② 経済的負担軽減に関する支援制度

近畿大学大学院における奨学金・大学独自の授業料減免・研究科の独自経済的負担軽減措置に関する情報をファイナンシャル・プランとして本学大学院のホームページに公表しています。

詳細は近畿大学大学院のホームページをご覧ください。



ファイナンシャル・プラン
（ホームページ）

・奨学金・大学独自の授業料免除・研究科の独自経済的負担軽減措置に関する情報

URL：<https://www.kindai.ac.jp/graduate/disclosure/plan/>

7-③ 入学辞退に伴う学費等返還

入学手続完了者が入学を辞退（学費返還を伴う）される場合は、合格通知書（入学に必要な書類等）に同封いたします「入学辞退に伴う学費等返還について」をご確認いただき令和7年3月31日（月）窓口終了時間までに「入学辞退に伴う学費等返還願」を提出願います。後日、入学金（入学申込金）を除く学費等を返還します。学費等の返還は、4月末日までに銀行振込にて送金します。

8. その他

【近畿大学大学院 研究科・専攻 設置年】

研究科	専攻	設置年
総合理工学研究科	理学専攻	(修士・平成 11 年) (博士・平成 11 年)
	物質系工学専攻	(修士・平成 11 年) (博士・平成 11 年)
	メカニクス系工学専攻	(修士・平成 11 年) (博士・平成 11 年)
	エレクトロニクス系工学専攻	(修士・平成 11 年) (博士・平成 11 年)
	環境系工学専攻	(修士・平成 11 年) (博士・平成 11 年)
	東大阪モノづくり専攻	(修士・平成 16 年) (博士・平成 20 年)
	建築デザイン専攻	(修士・平成 27 年)

【研究科・専攻・課程・授与する学位】

研究科	専攻	課程	授与する学位	
			修士	博士
総合理工学研究科	理学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（理学）	博士（理学）
	物質系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	メカニクス系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	エレクトロニクス系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	環境系工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	東大阪モノづくり専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	建築デザイン専攻	修士課程	修士（建築学）	—

【アクセス】

- ・ 東大阪キャンパスまでの交通アクセス
近鉄大阪線・長瀬駅から徒歩約 10 分
近鉄奈良線・八戸ノ里駅から徒歩約 20 分、バス約 6 分
URL : <https://www.kindai.ac.jp/access/>



キャンパスマップ
(ホームページ)



交通アクセス
(ホームページ)



ノートパソコン
必携化
(ホームページ)

- ・ キャンパスマップ（東大阪キャンパス）
URL : <https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/campus-guide/higashi-osaka/>
- ・ ノートパソコン必携化
URL : <https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/>

出願時の教員名入力について

出願時の入力の際、「志望専修科目および指導教員名」欄は本学大学院 Web ページ

(<https://www.kindai.ac.jp/graduate/for-entrance/exam/outline/>) の教員一覧(「大学院研究科概要(カリキュラム)」)を参照のうえ「選択必修科目」から指定し、担当教員名も入力してください。

試験当日について

- (1) 各入学試験におきまして、決められた試験室に試験開始 30 分前までに集合してください。
- (2) 遅刻限度時刻は、原則として試験開始 30 分後です。
ただし、やむを得ない事情によって遅刻した場合は、理工学部学生センターに申し出てください。

試験当日における対応について

本学大学院では、入学試験実施に際し、公平で良好な受験環境の保持に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとる場合があります。予めご了承ください。

(1) 不測の事態(地震などの自然災害や火災、停電、公共交通機関の遅延、チャイムの誤作動等の設備の故障等)の発生により、試験開始時刻の繰下げや正規の試験時間を確保するための試験時間の延長、それらを理由とした休憩時間の調整などの措置をとることがあります。その場合、本学の責によらない不可抗力による事故等であることが明らかな場合は、それによって生じた受験者の負担費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

- (2) 試験室内の設備(机、椅子、空調、照明、音響設備等)の違いなどは、合否判定の際、一切考慮しません。
- (3) 解答時間中に、日常的な生活騒音が発生した場合でも、特別な救済措置は行いません。

【日常的な生活騒音の具体的な事例】

- ・ 航空機、自動車などの騒音や通過する緊急自動車のサイレン等の音
- ・ 風雨や雷鳴など自然発生する騒音
- ・ 廃品回収やイベントや選挙などのアナウンスや工事の音
- ・ 動物の鳴き声
- ・ 空調機器や照明など試験会場に備える施設や設備が発する音
- ・ 周囲の受験者や試験監督者が発する咳やくしゃみ、鼻をすする音など
- ・ 携帯電話等の短時間の鳴動

* 試験時間中に携帯電話などの鳴動が発生し、その発生源であるかばんなどが特定できた場合は、その持ち主の同意なしに試験監督者が試験室外に持ち出し、試験終了まで保管することがあります。

- (4) 試験時間中に、試験監督者が試験実施上必要な打合せ・指示・説明・巡回を行うことに伴って生じる音等に対する申し出には応じられません。
- (5) 特定の受験者の行為が、他の受験者に迷惑であると判断された場合は、受験の中止や別室にて受験を指示するなどの措置を講じることがあります。
- (6) その他緊急の対応を必要とする事項などにつきましては、その旨を受験票に記載し、その詳細を本学大学院のホームページに掲載します。また、試験当日の緊急連絡等については出願時に登録いただいたメールアドレスに送信する場合があります。
- (7) 入学試験はオンラインで実施する場合があります。その際は事前に通知します。

近畿大学大学院

理工学部学生センター

東大阪市小若江 3-4-1

TEL: (06) 4307-3047

Mail: rikoh-kym@itp.kindai.ac.jp

建築学部学生センター

東大阪市小若江 3-4-1

TEL: (06) 4037-3057

Mail: kenchiku@itp.kindai.ac.jp